

# 緩和ケア部会

がんにより死亡する人の減少  
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成  
29年度までに20%減少させる。

全体目標

部会が担当す  
る分野の課題  
と目標

5

施策毎  
のアウト  
カム目標

施策毎  
のアウト  
プット  
目標

施策  
アクション  
プラン

ワーク  
シート1で  
導き出さ  
れた対策  
項目

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の  
質の維持向上

【目標】  
あるべき姿 質の高い緩和ケア医療の提供

中期目標 除痛率の指標を作る  
指標 除痛率60%

最終目標 除痛率調査方法のベースラインが出来ている  
指標 除痛率90%

【アウトカム目標1】平成26年3月までに、すべての  
の患者が緩和ケアを正しく理解し、治療に参加  
できる必要な機会にアクセスできる環境を整え  
る。

(1)26年3月までに拠点・支  
援病院で主治医からの配  
布率が50%以上になる  
こと、(2)30年3月ま  
でに配布率100%になる

26年3月までに、宮古  
市又は石垣市で1回  
開催

26年3月までに、拠点・  
支援病院と協議し、HPで  
情報を発信する

(1-1)緩和ケアパンフレット作成  
(1-2)緩和ケア講演会定期開催  
(1-3)HPの緩和ケア情報を充実させる

【施策1】一般・患者、家族への  
の情報提供を行う

【施策2】患者会への協  
力

【アウトカム目標2】  
26年3月までに満足60%  
(2)30年3月までに90%

●月までに評価アンケートを実施する

25年3月までにアンケート解  
析をおこない、患者さんとの  
ニーズのギャップを明らかにする

平成24年度までに調査方法を精査する

平成24年度までに調査方法を精査する

【施策3】除痛率の確立をはかる

【施策4】緩和ケア現状調査

【アウトカム目標3】  
30年3月末までに基本的な緩和  
ケア医療ができる医師が630名増  
加し、一般的な緩和ケア医療が  
できる医師が210人増加する

●月までに評価アンケートを実施する

平成24年度までに調査方法を精査する

平成24年度までに調査方法を精査する

【施策5】緩和ケア研修の実施

【施策6】フォローアップ研修会及び在宅緩和ケア研修会の実施

【アウトカム目標4】  
30年までに緩和ケア医療ができる医師以外  
の医療者が2倍増え、25施設の緩和ケアチ  
ームの依頼が5倍に増える

●年までにアンケート調査を行う。

26年3月までに拠点・支  
援病院の依頼数が30%増える

●年までにアンケート調査を行う。

(7-1)がんリハビリ療士数把握  
(7-2)緩和薬物療法薬剤師の把握  
(7-3)同スキルナースの把握

【施策7】コメディカルの増員

【施策8】2月中旬に緩和ケアチーム依頼調査

【アウトカム目標5】  
26年3月までに看取り  
を行う施設が2倍に増える

1年に6回開催180名修了

●年までにアンケート調査を行う。

(9)看取り施設での勉強会開催  
(9-1)在宅療養支援診療所及び在宅ケアマップ作成  
(9-2)症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパス作成・運用

(10)行政セミナーを行う。

【対策項目1】  
患者さんへの正しい情報提供

【対策項目2】  
より多くの医療関係者への適切な情報提供と教育

【対策項目3】  
チーム医療体制の強化

【対策項目4】  
病棟・病診連携の強化

【対策項目5】  
行政との連携